

評価結果概要版



令和3年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	社会福祉法人豊島区社会福祉事業団
事業所名称	高齢者在宅サービスセンターアトリエ村
事業所所在地	東京都豊島区長崎4丁目23番1号
事業所電話番号	03-5965-3404

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	<ol style="list-style-type: none">1) 利用者の尊厳と個人を尊重し、明るく安心できる生活環境と、真心と思いやりのこもったケアを提供します。2) 地域福祉の拠点として地域福祉の向上に貢献しながら組織的に発展していく施設創りを目指します。3) 経営にあたっては、常に最小の経費で最大の効果をあげるという視点に立ち、より一層の効率化・能率化に努めます。4) 職員は、常に自己研鑽に励み、質の高い職務の実現に取り組むとともに、明るく活力ある職場づくりに努めます。5) 利用者の人格と尊厳を大切に、高齢者とともに歩む新しい福祉の担い手を育成します。

全体の評価講評

<p>特に良いと思う点</p> <ul style="list-style-type: none">・リハビリの要素を取り入れた活動を多く実施し利用者の筋力維持に努めるとともに、趣味活動により楽しく過ごせるよう支援している <p>機能訓練指導員の指導のもと、介護職員がリハビリの要素を取り入れた活動を多く実施している。午前中は様々な種類の健康体操を行っている。「DAM体操」は、利用者が座ったままゆっくり体を伸ばすストレッチ運動で、その他、としまる体操、らくらく体操、下肢筋力トレーニングなどを毎日行い、利用者の筋力の維持に務めている。午後は、囲碁、将棋、健康麻雀、書道など手先を動かす活動を中心に行っている。コロナ禍で外出できないが、絵手紙や折り紙などの趣味活動を増やし、室内でも楽しく過ごせるよう工夫し支援している。</p> <ul style="list-style-type: none">・個々の嗜好を考慮したり、ちらし寿司など季節にちなんだメニュー等で、利用者の食事時間が楽しくなるよう工夫している <p>食事は厨房で調理し、衛生管理の行き届いた手作りの食事を提供している。形態は、常食、キザミ食、軟食、ムース食、ミキサー食と利用者の嚥下状況等に合わせて細かく設定している。利用者の嗜好やアレルギーにも対応しており、麺が苦手な利用者にはご飯を提供したり、青魚にアレルギーがある場合は別の魚等に変更している。また、春はちらし寿司、秋は炊き込みご飯、冬はほうとう、七夕の日には七夕ソーメン等と季節にちなんだメニューを工夫し、利用者の食事時間が楽しくなるよう支援している。</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者状況等は毎日の朝夕の申し送りや振り返りの時間に、出席職員全員で情報提供や意見交換をして情報共有を図っている <p>通所介護計画書や個別機能訓練計画書等は事務室に保管し、職員は必要な時にいつでも見られるようにしている。事業所は毎日、朝と夕方に出勤職員（ドライバーは除く）全員が参加する申し送りや振り返りの時間を設けている。朝の申し送りでは家族からの連絡事項や要望、その日の支援のポイントなどを、夕方の振り返りでは申し送りシートの内容の確認や職員間で意見交換を行い情報共有を図っている。それぞれの会議録は事務室に保管し、欠席職員は必ず確認している。さらに口頭での伝達を職員間で意識して行い、情報漏れのないように心がけている。</p>
--

さらなる改善が望まれる点

・マニュアル等の更新の仕組みについて、さらに職員へ周知をし職員の声を活かした適切なマニュアルでサービスの向上を図るとよい

マニュアルは基本的には年度替わりに担当者を決めて、チームで検討したものを主任・所長が確認して更新している。その他にも毎日の申し送り時の専門職の意見等を踏まえて、必要に応じて随時見直している。事業所はこのような仕組みでマニュアル等を更新しているが、第三者評価の職員自己評価でリーダー層は「変更の時期や基準がある」と評価した人は少なく、「職員等の意見等を反映している」の評価も少ない。マニュアル等の更新の仕組みについて職員へさらに周知し、職員の声を活かした適切なマニュアルでサービスが向上することを期待する。

・遠方に住んでいたりと、仕事で連絡が取りにくい家族等へも、利用者の様子を定期的に伝えられるよう工夫するとさらによい

家族には、「HOT通信」や「アトリエ活動通信」を配付し、利用者の事業所での日々の活動の様子を知らせている。利用者一人ひとりの事業所での様子は、希望する家族には連絡ノートを持参してもらい、リーダーが利用日当日の様子を記載している。また、バス送迎時に家族に会える場合は、送迎時に話をしている。なお、遠方に住んでいたりと、仕事で連絡が取りにくい家族等へも、利用者の様子を定期的に伝えられるよう工夫するとさらによい。

・

事業者が特に力を入れている取り組み

・見学は見学セットと称し、送迎付きで希望に合わせて行うなど力を入れて対応している

見学希望者には、見学セットと称して送迎付きで余暇活動等の希望するサービスが見学でき、希望者には昼食を利用者と一緒に食べられるようにしている。見学時間は見学したいサービスの実施時間等に合わせて個別に対応している。見学対応は主に相談員が行うが所長や主任介護職員も対応し、できるだけ見学希望者の予定に合わせて対応している。見学者にはありのままの様子をみてもらい、緊張をほぐしながら質問や希望を引き出せるよう努め、その内容を見学者記録として記録し、利用につながった場合の参考にするなど力を入れて対応している。

・「利用者茶話会」で利用者の意見や要望を聞き、利用者の主体性を尊重している

「利用者茶話会」を行っており、ジュースを飲みながら、送迎、食事、活動、リハビリ、職員の対応等について利用者から意見をもらっている。「体操は皆と一緒になのでやる気が出る」、「ミスト浴は気持ちが良い」、「食事はみそ汁、カレー、ラーメンがおいしい」、「外出したい」など様々な意見が出て、ケアの改善につながる貴重な時間である。事業所は、利用者から直接意見を聞く機会を設けることで、利用者の主体性を尊重し快適に過ごせるような取り組みを行っている。

・座席表があり、利用者同士が関わり合いながら快適に過ごせるよう配慮している

曜日ごとに座席表があり、年齢や趣味、生活歴等を考慮して一人ひとりの席を決めており、利用者同士が関わり合いながら過ごせるよう配慮している。朝の迎えのバスがすべて到着するまでは、談話時間として、皆近くの利用者同士で楽しそうにおしゃべりをしながら待っている。また、椅子の形状は、青い椅子、藤の椅子、肘付き椅子等があり、それぞれ座面の高さや幅、重量等が異なり最適なものを提供している。さらに、背中・座面のクッションや足台等も選択し長く座っていても疲れないようにするなど、利用者が快適に過ごせるよう配慮している。

利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

52/61

はい どちらともいえない いいえ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	78.0%	21.0%		
	いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%			
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	78.0%	9.0%	7.0%	
	無回答・非該当：3.0%			
3. 利用中に興味・関心が持てる行事や活動があるか	50.0%	38.0%	5.0%	6.0%
4. 個別の計画に基づいた事業所での活動・機能訓練（体操や運動など）は、在宅生活の継続に役立つか	86.0%	13.0%		
	いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%			
5. 職員から適切な情報提供・アドバイスを受けているか	71.0%	26.0%		
	いいえ：1.0% 無回答・非該当：0.0%			
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	88.0%	9.0%		
	いいえ：0.0% 無回答・非該当：1.0%			
7. 職員の接遇・態度は適切か	94.0%			
	どちらともいえない：3.0% いいえ：0.0% 無回答・非該当：1.0%			
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	75.0%	13.0%	9.0%	
	いいえ：1.0%			
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	63.0%	13.0%	21.0%	
	いいえ：1.0%			
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	86.0%	11.0%		
	いいえ：0.0% 無回答・非該当：1.0%			
11. 利用者のプライバシーは守られているか	80.0%	13.0%		
	いいえ：1.0% 無回答・非該当：3.0%			
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	80.0%	11.0%		
	いいえ：3.0% 無回答・非該当：3.0%			
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	75.0%	23.0%		
	いいえ：0.0% 無回答・非該当：1.0%			
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	76.0%	11.0%	11.0%	
	いいえ：0.0%			
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	42.0%	23.0%	11.0%	23.0%

評価結果概要版



令和3年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	社会福祉法人豊島区社会福祉事業団
事業所名称	高齢者在宅サービスセンター長崎第二豊寿園
事業所所在地	東京都豊島区長崎6丁目34番10号
事業所電話番号	03-5966-2564

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	1)ひとりひとりの利用者がその人らしく生き活きと質の高い生活が送れるように、自立と創造性を促す援助をいたします。 2)利用者家族や地域の人々に対し、センターの専門的機能を活用し相談援助を行います。

全体の評価講評

<p>特に良いと思う点</p> <ul style="list-style-type: none">・勤続年数の長い職員が定着しており、職員同士のコミュニケーションが活発で、利用者が快適に過ごせる取り組みを行っている <p>利用者の主体性を尊重し、快適に過ごせるよう毎日の体調変化に目を配り、家族や介護支援専門員、主治医との連絡を密にとっている。通所された利用者の体調確認を行い、経験豊かな職員が各自率先して朝の申し送りミーティングで意見を出し合いコミュニケーションがうまく取れている。また、利用者一人ひとりが快適に過ごせるように、できる限り本人の要望や視力・聴力に配慮し、楽しく参加できる工夫が行なわれている。</p> <ul style="list-style-type: none">・困難事例などを積極的に受け入れることにより、地域のセーフティネットとしての機能を果たしている <p>法人は歴史のある事業団であり、デイサービスも長くこの地で活動を続けている。それに加えて近隣のケアマネージャーなど専門職の定着率も高い地域特性もあって、地域のネットワークが構築されている。その中で他の事業所で受け入れが困難な、胃ろう・在宅酸素・ターミナル・困難事例等の利用者の受け入れを積極的に行っている。また、ニーズがあれば比較的遠距離の利用者の受け入れも行うなど、地域のセーフティネットとしての役割を担っている。</p> <ul style="list-style-type: none">・個別機能訓練が充実していることに加え、機能訓練指導員や地域専門職との連携が実践されている <p>多彩なプログラムによる活動と機能訓練指導員による個別機能訓練により、利用者の機能維持・向上を図っている。機能訓練指導員とケアマネージャーを中心とした地域専門職との連携も実践されており、利用前の担当者会議等にも機能訓練指導員出席を求められる事も多く、その場合も積極的に参加している。少しでも長く在宅生活を継続できるよう相談員・機能訓練指導員・看護職員・介護職員間で連携しながら在宅生活を支援している事は評価できる。</p> <p>さらなる改善が望まれる点</p> <ul style="list-style-type: none">・手書きの記録から電子化が進められているが、理念・方針の実現の為に検討を重ね、更なる工夫が必要である <p>今年度より電子化が進められており、手書きと電子化されたものが平行して使われている。導入して間もないことから、電子化するものと手書きの整理が十分行われていない。今まで実践してきた「その人らしさ追及」等の事業所の良さが効率化の名の元に希薄になってしまう可能性もあることから、手書きと電子化双方のメリット・デメリットを整理した上で活用を図ることが必要と思われる。今一度、自分たちが目指すものの実現に向けてどのような情報が必要なのか早急に整理することに期待したい。</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者のその人らしさ実現の為に、更なる人材育成とスキルアップが求められる <p>経験豊富でスキルの高い職員が多い。しかし、利用者のその人らしさ実現のためには更なるスキルアップが必要で</p>

あり、そのためには事業所のみならず法人としての新たなる人材育成・スキルアップのシステム構築が急務である。一人ひとりの職員の現状把握と到達目標の設定、目標達成に向けての人材育成システム、また、多くの機能を有する法人のメリットを積極的に活かした法人内異動なども含め、OJT・off-JT・SDSを組み合わせた職員ひとりひとりの中長期成長計画の立案と実行が求められる。

・事業所内の整理整頓、環境整備、おもてなしへの創意工夫などが求められる

建物や設備の老朽化が著しく、将来的には大規模改修も計画されている。倉庫が少ないことを初め、職員の努力だけでは解決できない課題も多いが、工夫しながら活用している努力が随所に認められるが、さらに今一度の整理整頓が必要と思われる。「ウェルカムボードやウェルカムフラワー等は必要ないか」「掲示物や展示物の見せる工夫」「時間が経過しても美しく保てる装飾方法」など、更なる工夫と整理整頓に期待したい。

事業者が特に力を入れている取り組み

・利用者個々の状態に合わせた対応を行うため、職員間の情報共有に取り組んでいる

利用者の日々の変化や家族からの情報を、職員間できちんと情報共有するため、情報を得た職員は朝の申し送りのほかに「ミーティングノート」を確認している。ノートは常に職員の目の届く場所にあり、個々の利用者に合わせて提供ができるように気づいたことを自由に記載し、全員周知が必ず必要な部分は目に留まるような色分けをするなどの工夫がされている。連絡事項だけにとどまらず、利用者一人ひとりの日々変化する状態を常に把握している。ベテラン職員が多いため、職員一人ひとりの自主性、主体性が感じられる。

・服薬管理に誤りがないように、看護師自ら、利用者一人ひとりに投薬している

利用者が事業所に到着すると、利用者本人から体調を聞き取っている。顔色や歩行状態などから利用者の様子を確認すると同時に、看護師が血圧、検温のバイタルチェックを行い、利用者が持参した薬の確認、変更の有無をチェックしている。変更があるときは、事前に家族や介護支援専門員から連絡あるが、さらに詳細な情報が必要な場合は再度確認の連絡を入れている。変更した情報は職員に情報共有を行うと同時に、投薬ミスを防止するため、看護師が自ら利用者一人ひとりの薬を再度確認して与薬し、服薬の確認と記録を行っている。

・比較的遠距離の方や重度・見取りの方等にも取り組んでいる

胃ろうや在宅酸素・看取りのケース等の困難事例にも積極的に取り組み、地域高齢者が1日でも長く住み慣れた地域で安心して在宅生活を送れるように努めている。法人内の他のデイサービスが送迎できない比較的遠距離のエリアの利用者もニーズに応じて受け入れているほか、地域で長く活動する歴史のある法人の一員として、地域のセーフティネットとしての役割を担えるように、責任感を持って業務に取り組んでいる。反面、その熱意が職員のオーバーワークとなっている感もあり、業務の効率化も求められている。

利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

19/82

はい どちらともいえない いいえ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	73.0%	15.0%	10.0%	いはいえ：0.0%
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	89.0%		10.0%	どちらともいえない：0.0% いはいえ：0.0%
3. 利用中に興味・関心が持てる行事や活動があるか	63.0%	21.0%	5.0%	10.0%
4. 個別の計画に基づいた事業所での活動・機能訓練（体操や運動など）は、在宅生活の継続に役立つか	73.0%	15.0%	10.0%	いはいえ：0.0%
5. 職員から適切な情報提供・アドバイスを受けているか	68.0%	15.0%	15.0%	いはいえ：0.0%
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	84.0%		10.0%	5.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	84.0%		5.0%	10.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	94.0%			5.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	78.0%		21.0%	どちらともいえない：0.0% いはいえ：0.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	89.0%		5.0%	5.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	84.0%		5.0%	10.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	89.0%			10.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	89.0%			10.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	78.0%	10.0%	10.0%	いはいえ：0.0%
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	52.0%	26.0%	21.0%	いはいえ：0.0%

評価結果概要版



令和3年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	社会福祉法人敬心福祉会
事業所名称	デイホーム南池袋
事業所所在地	東京都豊島区南池袋3丁目7番8号オリナスふくろうの杜
事業所電話番号	03-5958-1206

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	1)利用者ファースト 2)新しいことへの挑戦 3)業務改善 4)豊島区で1番のデイサービス（CS、稼働率、職員定着度） 5)地域連携

全体の評価講評

特に良いと思う点

・利用者が自分らしく安心して楽しく過ごせる「居場所」として十分に機能している

デイサービスは利用者の生活の一部であり、「居場所作り」が可能である場所と認識し、家庭生活との連続性を十分に重視した支援の提供に努めている。利用者が興味のあることや生活習慣、性格などを十分に把握した上で利用者個々の状況・状態や希望に応じた支援を行っている。また、利用者の主体性や役割の重要性を重視し、意欲や興味を引き出せるような支援にも積極的に取り組んでいる。経験値および専門性の高い職員による細やかな支援と明るく温かみあるコミュニケーションにより、利用者が自分らしく、安心して居心地よく過ごすことができている。

・利用者サービスの向上のために職員のスキル向上に努めている

利用者がデイサービスでの時間を明るく楽しく過ごせるように、職員自身が明るく元気で、かつ利用者と一緒に活動を楽しむことを大事にしている。このような姿勢は現職の職員のみならず、実習生や新人職員に対しても求めている。特に実習生には単なる傍観者としてではなく、当事者として業務に関われるように担当職員とプログラムを用意している。新人職員や実習生の存在と指導を通して、サービスの見直しを図る機会ともしている。

・介護職がより結束して、利用者が楽しめる行事・活動の継続や創出に取り組んでいる

新型コロナウイルス感染症防止対策として例年豊富に実施する行事・レクリエーション・趣味活動等を中止または縮小せざるを得ない状況の中、楽しめて興味ある活動を継続できるよう、休止中の講師やボランティアが担っていた部分を介護職員が可能な限り対応するよう努めている。センター内で展示会を開催する新たな活動や送迎車を活用した近隣のドライブ外出、ベランダを活用し花や野菜を育てる園芸など、職員個々の努力や創意工夫、チームワークの下で感染症予防に十分配慮しながら行事・活動の継続および創出に積極的に取り組んでいる。

さらなる改善が望まれる点

・記録の取り方や様式の改訂を通して、より一層の情報の共有化を目指す

常によりよいサービスを目指し、職員のスキル向上と情報共有に取り組んでいる。高い職業倫理意識を持つ職員が多く、チームワークのよさもあって利用者の満足度も高い。個別の記録に関しては利用者情報のシステムと手書きの書式を組み合わせ、より利用者の状況を把握し、職員間で共有できるように試行を重ねている。介護ソフトの活用や利用者の状況を正確に記録するための様式の改訂などを通して、引き続きより一層の情報の共有化を目指してほしい。

・帰宅時の送迎時間における人員の、さらなる有効活用と体制整備に向けて

利用者の当日の体調や状態に合わせた送迎支援に努め、個々の心身状況・生活環境や個別事情等への十分な配慮、利用者・家族の意向・希望への最大限の考慮を行っている。柔軟性のある送迎体制下でかつ新型コロナウイルス感染症の防止対策を徹底しており、夕刻の送迎が始まる時間帯に活動支援の職員体制の十分な配置が難しい場面があることを認識している。委員会を中心に業務体制の現状把握と課題検討を継続して進め、その体制の中で利用者が負担感なく楽しめる活動を精査して提供しており、引き続きの限られた人員の有効活用への取り組みが期待される。

・

事業者が特に力を入れている取り組み

・職員同士の取り組みを評価する仕組みを整え、業務の平準化に努めている

マニュアル等の整備を行うことと並行して、職員同士でお互いの活動や工夫を評価する取り組みを実践している。職員の人柄や人格ではなく、行動そのものを対象とし、よい取り組みについては他の職員も取り組めるようにすることで事業所の業務の平準化が図れるようにしている。常に利用者の情報を迅速に、確実に、全員で共有できることを目指し、記録類のフォームを工夫し改訂し続けている。

・機能訓練整備委員会を発足し、個別機能訓練加算取得に向けて体制を整備している

個別機能訓練加算の取得に向けて機能訓練整備委員会を新たに発足し、デイサービスでの機能訓練の在り方や役割について改めて見直し、体制整備を進めている。より利用者個別に特化した機能維持向上、機能訓練の質の向上に機能訓練指導員・看護職・介護職が連携して取り組んでいる。利用者本人のニーズ、できることや意欲に着目しながら、可能な範囲で自立した在宅での日常生活にできるだけつなげられる支援の実践に努めている。

・講師・ボランティア活動の再開時の円滑な始動や新体制についての検討を進めている

例年、季節行事・催し・レクリエーション・趣味活動等を、講師やボランティアの多くの協力を年間を通して得て実施している。昨年度より新型コロナウイルス感染症防止対策として講師やボランティアの受け入れを休止しているが、書道講師に見本を送ってもらい活用する等の工夫をしている。再開時の講師・ボランティア活動の円滑な始動に向け今まで講師やボランティアが担っていたことを精査し、講師やボランティアと手紙や電話等を通じ意向を汲み取るとともに流行病と共存する新たな生活様式も視野に入れつつ今後の体制や内容の検討に努めている。

利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

33/90

はい どちらともいえない いいえ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	81.0%	18.0%	いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%	
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	78.0%	12.0%	6.0%	いいえ：3.0%
3. 利用中に興味・関心が持てる行事や活動があるか	60.0%	12.0%	12.0%	15.0%
4. 個別の計画に基づいた事業所での活動・機能訓練（体操や運動など）は、在宅生活の継続に役立つか	78.0%	18.0%	いいえ：0.0% 無回答・非該当：3.0%	
5. 職員から適切な情報提供・アドバイスを受けているか	60.0%	39.0%	いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%	
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	90.0%	9.0%	いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%	
7. 職員の接遇・態度は適切か	93.0%		3.0%	どちらともいえない：3.0% いいえ：0.0% 無回答・非該当：3.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	81.0%	9.0%	9.0%	いいえ：0.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	66.0%	15.0%	15.0%	いいえ：3.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	84.0%	15.0%	いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%	
11. 利用者のプライバシーは守られているか	90.0%	6.0%	いいえ：0.0% 無回答・非該当：3.0%	
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	66.0%	27.0%	3.0%	いいえ：3.0% 無回答・非該当：3.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	69.0%	27.0%	いいえ：3.0% 無回答・非該当：0.0%	
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	69.0%	27.0%	いいえ：0.0% 無回答・非該当：3.0%	
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	42.0%	39.0%	18.0%	いいえ：0.0%